若葉台住宅管理組合協議会
２０１７年度 議 案 書

「きんらん」
〔撮影・提供：松田 薫 氏（元・会計監査・第 14 住宅管理組合）〕

※きんらん【金蘭】〔易経繫辞上「二人同心、其利断金、同心之言、其臭如蘭」〕
友人どうしが力を合わせれば固い金をも断ち切ることができる、
そして友人どうしが志を同じくすれば、蘭の花の芳しい香りがする。

2017年度（第29回）新旧合同役員会

日時：2017年6月４日（日）18時～21時00分

会場：3－7 棟「しらかし」集会所

2017年6月

緑のまち横浜若葉台

「100年マンション憲章」

1．管理組合は、マンションの「長寿命化・再生」を目指し、さまざまな施策と活動を行っていきます

2．管理組合は、「守る管理」から「攻める管理」を実践していきます

3．管理組合は、この素晴らしい「住・緑環境」を守り、積極的かつ広域的に協調して管理していきます

4．管理組合は、世代間の平準化を積極的に図り、「世代循環型団地」の創出を目指します

5．管理組合は、オール若葉台組織の一員として、魅力ある100年タウンを目指し、「緑のまち横浜若葉台」を創造します

〔若葉台住宅管理組合協議会　2007年度制定〕

2017年6月

2017年度新旧合同役員会次第

司会:若葉台住宅管理組合協議会
事務局長　鴻谷　豊

１．開 会

２．挨　拶

若葉台住宅管理組合協議会 会長　柿沼　鉄雄

3. 資格審査

４．議　事

議　　長　　若葉台住宅管理組合協議会 会長　柿沼　鉄雄

議　　案

第１号議案　2016年度活動報告、委員会報告
第２号議案　2016年度決算報告、会計監査報告
第３号議案　若葉台住宅管理組合協議会会則改定の件
第４号議案　2017年度幹事及び監事選出の件
第５号議案　2017年度活動計画(案)
第６号議案　2017年度予算(案)

５．閉 会

6. 懇 親　会

2017年6月

議案書目次

議 案

第１号議案　2016年度活動報告、委員会報告----------P.　1

第２号議案　2016年度決算報告、会計監査報告----------P. 18

第３号議案　若葉台住宅管理組合協議会会則改定の件----------P. 19

第４号議案　2017年度幹事及び監事選出の件----------P. 20

第５号議案　2017年度活動計画(案)----------P. 21

第６号議案　2017年度予算(案)----------P. 26

付属資料

若葉台住宅管理組合協議会会則----------P. 27

2017年度若葉台住宅管理組合協議会役員会名簿----------P. 34

若葉台住宅管理組合協議会組織図----------P. 35

若葉台住宅管理組合位置図----------P. 36

2017年6月

第1号議案

2016年度活動報告

○ 2016年度新旧合同役員会（第1回役員会）

2016年6月5日（日） 18時00分～21時00分

（書記：協議会幹事）

会　場 ：3－7棟「しらかし」集会所

出席者 ：58名(内、管理組合42名、まちづくりセンター13名、来賓3名)

議　案 ： 第1号議案 2015年度活動報告、委員会報告

第2号議案 2015年度決算報告、会計監査報告

第3号議案 2016年度幹事・会計監査選出の件

第4号議案 2016年度活動計画(案)

第5号議案 2016年度予算(案)

柿沼議長の進行により、第1号議案の2015年度活動報告、委員会報告から第5号議案の2016年度予算(案)まで審議を行ない、一部誤記については訂正する事を条件に特に異議なく議案どおり拍手承認された。

連絡事項として、「続100年マンションプロジェクト」の不採用の件、新理事長（個人または集会所）のメールアドレスの届出の件、「みんなの若葉台」への掲載記事の件、等について報告・依頼があった。

引き続き、来賓（協議会・山本顧問、連合自治会・山岸会長、まちづくりセンター・森本理事長）各位のご挨拶を賜った後、関係各位の活躍を期して懇親会を行なった。

○ 第2回役員会

2016年7月1日(金)　20時～22時05分、3-5棟「カルチャーセンター」内教室

（書記：東マンション管理組合）

冒頭、まちづくりセンター・小倉管理事業部長、野口総務部長、丸野管理課長より資料に基づき、平成27年度事業報告及び決算報告、並びに平成28年度の具体的な取り組みについての報告・説明があった。

但し、質疑応答の結果として、決算報告の内の管理組合受託費の収支状況については、過去の受託費アップの際の経緯を踏まえ、より詳細な説明が必要である事、具体的な取り組みについても補足説明が必要であると言う事になり、後日の役員会にてフォローして頂く事になった。

(1)議事録の確認　①5月度役員会、②2016年度新旧合同役員会

2017年6月

⑵協議会役員会および各委員会の構成について
①委員会の専門委員の推挙承認および各管理組合選出委員を確認
②「団地共益費監査機関」の監査委員として下記2名を選出
花田理事長（東マンション）、井坂氏（協議会会計監査）
⑶役員会および各委員会の運営について
①協議会年会費の納入について（依頼）
②月例役員会の運営方法、書記の持ち回り等
③役員会お茶代の昨年度収支報告と本年度徴収の要否
繰越金があるので、本年度は徴収しない事になった。
⑷委員会等の案内・報告
①各委員長より、本年度の取り組み方針、開催日程等について報告
②柿沼会長より、平成28年度タウンミーティングin若葉台の件、「トキワツユクサ」駆除の件、理事研修会の件、等について案内・依頼があった。
⑸協議会関係諸機関の情報等
加藤副会長より、熊本地震への寄付金のお願いの件、等について、依頼あり。

○ 第3回役員会
2016年8月度は「夏休み」につき休会

◇ 2016年度理事研修会
2016年8月7日（日） 10時～15時15分
（書記：協議会幹事）
会　場 ：3－7棟「しらかし」集会所
出席者：50名（内、管理組合43名、まちづくりセンター7名）

・講演Ⅰ：100年マンションプロジェクトの成果報告
講師：柿沼　鉄雄氏　（若葉台住宅管理組合協議会会長）
・実地見学会：中央監視施設(防災センター内)
・講講Ⅱ：電力自由化への対応について
講師：柳楽　勲氏（若葉台住宅管理組合協議会幹事）

引続き、管理組合間の情報交換と親交を深めるための懇親会を行った。

○ 第4回役員会
2016年9月2日（金）　20時～22時00分、3－6棟「施設会議室」
（書記：第3住宅管理組合）
冒頭、ミルボード・沓掛会長、大塚支店長、あいおいニッセイ同和損保（以下、あいおいと称す）・小林氏の参加を得て、住民を対象とした損害保険の集団割引について、従来の損保ジャパン日本興亜に加えて、「あいおい」より集団扱への参入申し入れあり。

2017年6月

質疑応答の結果、基本的には異存ないものの、各管理組合の規約の開示が条件となるため、第10管より規約開示の範囲について再確認させて欲しい旨の要請あり。本件については、その後、あいおい・小林氏との間で確認をとった結果、規約の開示は本則部分のみで良い事が確認され、参入の手続きを進める事になった。

⑴前回議事録の確認 ①7月度役員会、②2016年度理事研修会
⑵委員会等の案内・報告
①各委員長より、第1回委員会の概要について報告。
②柿沼会長より、若葉台未来づくり協議会、若葉台マスタープラン策定委員会、等について報告あり。
⑶協議会関係諸機関の情報等
センター・丸野課長より、各管理組合との懇談会の件、管理組合理事向け研修会の件、等について案内・報告あり。
⑷管理組合間の情報交換
詳細は省略するが、組合が抱えている諸問題に関する貴重な情報交換があった。

○ 第5回役員会
2016年10月7日(金) 20時～22時25分、3－6棟「施設会議室」
(書記:若葉台くぬぎ管理組合)
⑴前回議事録の確認 9月度役員会
⑵委員会等の案内・報告
①各委員長より、第2回委員会の概要について報告。
②柿沼会長より、若葉台マスタープラン策定委員会及び中間報告会の件、「みんなの若葉台」掲載記事の継続の件、集団扱保険集金事務費の振り込みの件、等について案内・報告あり。
⑶協議会関係諸機関の情報等
丸野課長より、10/23のセンター主催セミナーの件、各管理組合との懇談会の件、について詳細説明あり。
加藤副会長より、マンション学会関東支部主催セミナーの件、横浜市マンション登録の件、等について案内・依頼あり。
⑷管理組合間の情報交換
詳細は省略するが、組合が抱えている諸問題に関する貴重な情報交換があった。

○ 第6回役員会
2016年11月4日(金) 20時～21時35分、3－6棟「施設会議室」
(書記:第5住宅管理組合)
冒頭、まちづくりセンター・渡邉理事、小倉管理事業部長、丸野管理課長より、7月度役員会での指摘事項に関する補足説明が行われた。

2017年6月

但し、平成27年度管理組合受託費の収支状況については、過去の説明で使われていた人工との関係が不明なため、再度、後日の役員会にてフォローして頂く事になった。

⑴前回議事録の確認　10月度役員会
⑵委員会等の案内・報告
①鴻谷委員長より、CATV等小委員会の本年度の取り組みの現状を把握して頂くために来年1月または2月に役員会に準じた説明会開催の提案があり、了承された。
②柿沼会長より、若葉台未来づくり協議会、若葉台マスタープラン策定委員会中間報告会、「みんなの若葉台」1月号記事の件、等について報告・説明あり。
⑶協議会関係諸機関の情報等
加藤副会長より、地震保険加入に関する留意事項についてアドバイスあり。また、横浜市マンション登録をセンターで纏めて行う件については了承された。
⑷住宅管理に関する定期懇談会（第12回）の議題について
幹事会提案通りにて承認された。

○ 第7回役員会（定期懇談会前の短時間開催）
2016年12月2日(金)　19時～19時40分、3－7棟「しらかし」集会所
（書記：協議会幹事）
⑴前回議事録の確認　11月度役員会
⑵委員会等の案内・報告
①各委員長より、第3回委員会の概要について報告。
②鴻谷委員長より、CATV等小委員会としての説明会は、1/20となった旨の報告あり。
③柿沼会長より、長命化・再生委員会の委員の中から施設委員会と合体しても良いのではとの意見が出ている事に関連して、幹事会で検討した結果として、来年度からの一本化を考えている旨、報告あり。詳細は後日の役員会にて提案予定。

◇ 住宅管理に関する定期懇談会(第12回)
2016年12月2日(金)　19時40分～21時00分、3－7棟「しらかし」集会所
（書記：協議会幹事）
出席者：32名（内、管理組合22名、まちづくりセンター8名、県公社2名）
趣旨：「若葉台の住宅管理に関する諸課題についての意見交換と認識の共有」

1．マスタープラン策定に係る進捗等について
水上課長代理より、資料に基づき説明あり。
①2016年2月から委員会を開始しているが、マスタープランそのものは今年度内に完成させる予定。
②公社、まちづくりセンターが旗振り役になり、地域の組織とで共通の指針を作成する事を目的としている。「未利用地を今後の若葉台のためにどのように使っていくか」「次世代に選ばれるまちにしていくためには」等を指針としている。

2017年6月

③課題の共有（現状把握）に時間がかかっているが、5つの切り口から整理（①子育て②高齢者③中心街の活性化④住宅流通⑤次世代への継承）する予定。

④プランを如何に実現性のあるものにしていくかは、マネージメント（進捗管理）機能が重要ととらえている。

2. まちづくりセンターの活動等について

4/1付のまちづくりセンターの機構改革（組織変更・人事異動）とその後について、渡邉理事より、口頭にて説明あり。

・機構改革の趣旨は、居住者、若葉台のまち、センターが一緒に成長し続けることにある。機構改革から8カ月を経過したが、効果は即効的に見えるようなものではない。人口減少・高齢化が進むなか環境変化がスピードを増してきている。変化に耐えうる強い組織を作る必要があり、それらに対応するために長期的に考えて、4項目にポイントを見定めて今回の機構改革を行った。

①業務内容に対応した組織構成：業務内容ごとに組織を配置して将来の事業の再構築の礎にしていく。地域住民に対するサービスステーションと公社資産の管理の2つに分類して、それぞれ専門的に仕事を行い、活性化を図る（但し、工事課は管理組合と賃貸住宅の工事の両方を担う）。

②業務ローテーション：センターが持つ技術・ノウハウ、若葉台の歴史を承継して行く必要がある。職員は、若葉台の事は最低限浅く広く知っている必要がある。よって、業務のローテーションを行い新たな知識を吸収して幅広い仕事ができる様にした。

③地域活性化のための取り組み：地域の活性化の取り組みが重要である事は言うまでもない。地域の方々・団体との連携、公社との連携を強化する。

④情報共有による経営への反映：情報を遅滞なく経営と共有化する体制を構築し、センター経営に反映する。

・社会環境の変化が激しいなか、更なる機構改革が必要になるかも知れない。その様な場合は修正が必要であり、即座に対応すべく考えているので、引き続き皆さんのご支援をお願いしたい。

説明を受けての質疑応答の記述については、省略する。
引続き、出席者間の親交を深めるための懇親会を行なった

○ 第8回役員会

2017年1月6日（金）　20時～21時40分、3－6棟「施設会議室」
（書記：第6住宅管理組合）

冒頭、森本理事長から新年のご挨拶と本年の課題（ショッピングタウンの空き店舗対応、センターの技術者不足への対応）、横浜市西部の新交通網に関する情報等についてお話しを伺った。

2017年6月

⑴前回議事録の確認 ①12月度役員会、②住宅管理に関する定期懇談会
⑵委員会等の案内・報告
施設委員会 1/14に第12管の大規模修繕工事現場を見学予定。アルミサッシ工事関連については、LIXILより直接説明を受ける事になった。
CATV等小委員会 1/20の説明会について案内あり。
幹事会 ①柿沼会長より、若葉台マスタープラン策定委員会、若葉台未来づくり協議会、等の概要について報告あり。
②橋本会計より、16年度会計中間報告について報告。
③柿沼会長より、来期の協議会幹事について報告あり。柳楽氏、橋本氏、井坂氏より退任の申し出があり、調整中であるが、井坂氏が退任すると1丁目からの幹事がいなくなるため、第一と東マンションで調整し、1名選出するよう依頼があった。
⑶協議会関係諸機関の情報等
丸野課長より、①センター主催の本年度2回目セミナー開催の案内、②東電タウンプランニングからの配電設備定期点検・設置測定の案内あり。但し、電気室の鍵は管理組合が保管している所もあり、入室日時の調整が必要になるため、別途、東電パワーグリッドより管理組合理事長宛の正式文書を提出してもらう事とした。
⑷管理組合間の情報交換
詳細は省略するが、いくつかの組合より貴重なトラブル等の報告があった。

◇「CATV施設(設備)の現状と課題」に関する説明会
2017年1月20日(金) 20時～22時、4－21棟「とちのき」集会所
(書記:協議会幹事)
出席者:43名(内、管理組合41名、まちづくりセンター2名)
趣旨:2015年度並びに2016年度にCATV等小委員会で検討してきている取組み等に関して把握して頂き、今後の課題への対応にご協力を頂く。

冒頭の柿沼会長からの挨拶に続き、鴻谷CATV等委員長より下記について説明あり。
1. 予備知識:・テレビ放送の使用周波数帯と4K・8K衛星放送について
・若葉台CATV施設の現状
・イッツコムとの契約概要
2. 若葉台での4K・8K衛星放送(110度衛星)の受信への対応
3. 各棟内テレビ放送伝送路(現在、同軸ケーブル)の改修積立金の見積もりを行うにあたり
4. 通信回線の高速化への対応
5. 2017年度CATV等委員会について

説明を受け、活発な質疑応答があったが、その詳細は、ここでは省略する。

2017年6月

○ 第9回役員会

2017年2月3日（金） 20時～22時00分、3-6棟「施設会議室」

（書記：第7住宅管理組合）

冒頭、まちづくりセンター・野口総務部長より、11月度役員会にて指摘のあった平成27年度管理組合受託事業の人工との関係数字、等について補足説明があり、役員会として了承した。

(1)前回議事録の確認 ①1月度役員会、②CATV等説明会

(2)委員会等の案内・報告

①各委員長より、第4回委員会の概要について報告。

・施設委員会報告として、アルミサッシ交換工事関連で、LIXILより説明を受けた件に関し、貴重な報告があった。関連して、加藤副会長から、国交省の補助金制度は、まだ暫く続くであろうとの見通しが示された。

②柿沼会長より、若葉台マスタープラン策定委員会の進捗、みんなの若葉台の広告主探しの件、会計監査井坂氏の後任として第一の金子氏に受けて頂いた件、等について報告。

(3)来期以降の委員会の構成に関するご提案

施設委員会と長命化・再生委員会の統合について、柿沼会長より提案あり。但し、委員会名等の細部で異論があったため、再検討し、次回役員会に再提案する事とした。

(4)協議会関係諸機関の情報等

丸野課長より、「マンション標準管理委託契約書第14条」改定の関連で、今まで以上に詳細な情報の開示が求められている（例えば、重大な事件事故、滞納）ので、留意して欲しい旨の報告あり。

○第10回役員会

2017年3月3日（金） 20時～21時55分、3－6棟「施設会議室」

（書記：第8住宅管理組合）

冒頭、東マンション管理組合の阿部成美新理事長よりご挨拶があった。本件は、花田前理事長が病気入院され、理事長を辞任された事に伴う措置であり、取り敢えず、5月総会までと言う事になっているとの事。

(1)前回議事録の確認 2月度役員会

(2)委員会等の案内、報告

柿沼会長より、①若葉台マスタープラン策定委員会の進捗（横浜市の「大規模団地再生モデル構築事業」で、若葉台が先行着手する4団地の一つとなった）、②「みんなの若葉台」4月号の原稿の件（東マンション担当を協議会幹事に替えた）、③来年度協議会幹事の件（柳楽、橋本、井坂各氏が退任され、第12管・蜂須賀氏、第一管・金子氏が就任予定）、④3－3棟、3－6棟の耐震診断結果（3－3棟は改修不要、3－6棟は改修が必要だが大規模にはならない見込み）、等について報告あり。

2017年6月

⑶来期以降の委員会の構成に関するご提案

長命化・再生委員会と施設委員会を統合し、新委員会名を「施設等委員会」とする事で承認された。

⑷管理組合間の情報交換

詳細は省略するが、組合が抱えている諸問題に関する貴重な情報交換があった。

○第11回役員会

2017年4月7日（金） 20時～22時10分、3－6棟「施設会議室」
（書記：第一住宅管理組合）

⑴前回議事録の確認　4月度役員会

⑵委員会等の案内・報告

①各委員長より、第5回委員会の概要について報告。

②柿沼会長より、若葉台未来づくり協議会、協議会ホームページの整備の件（旧来の協議会ホームページを廃止し、新たなホームページを立ち上げる）、集団扱保険集金事務費の件（集金事務費の戻しは半年ごとから年1回にする）、若葉台小学校の全校遠足の件、等について報告あり。

⑶管理運営委員会からの答申・指針について

福田委員長より、昨年3月に改正された国交省の「マンション標準管理規約」について、委員会として検討した結果について報告があり、役員会として了承した。

①コミュニティ条項：若葉台の現状に鑑み現状通りで残す。

②外部専門家の活用：若葉台においては時期尚早との結論であるが、将来を考慮し、条項として入れておく。

③暴力団等の排除規定：新たに規定する。

④災害等の場合の管理組合の意思決定：新たに規定する。

⑤緊急時の理事等の立入り：新たに規定する。

⑥民泊・シェアハウス対策：原則、認めない立場から、規約違反が生じた場合の規制を強化する。

⑷協議会会則改定案について

柿沼会長より、本件は、長命化・再生委員会と施設委員会を統合したことにより派生した問題であるが、会則全体を見直した結果、新たに規定しておいた方が良い項目等もあって予想外に改定項目が増えた旨の背景説明があり、審議の結果、役員会として了承した。（個々の改定案の記述は省略する）

質疑応答の中で、幹事・監事に役員会構成の現役理事長（1名）を入れた方が良いのではと言う意見があったが、現実的には難しいため、今後の検討事項とした。

⑸協議会関係諸機関の情報等

丸野課長より、資料に基づき、まちづくりセンターの新組織について説明あり。

⑹管理組合間の情報交換、その他

第10管より、台所系排水管改修工事（更生ではなく更新）終了の報告あり。

○第12回役員会

2017年5月12日（金） 20時～22時10分、3－6棟「施設会議室」
（書記：第10住宅管理組合）

2017年6月

⑴前回議事録の確認　4月度役員会
⑵平成28年度団地共益費監査報告
丸野課長より、4/24に行われた監査について説明があり、監査を実施した阿部理事長（東マンション）、並びに井坂会計監査（協議会）から、会計処理が適切に行われている旨の報告があった。
⑶委員会等の案内・報告
柿沼会長より、「若葉台マスタープラン策定委員会」関連の委員会ニュース・住民説明会、「若葉台・健康とくらしの調査」への協力依頼、第5の緊急車両等停車スペースの件、等について案内・報告。また、丸野課長より、若葉台みらいづくりプランの「概要版」が席上配付され、土地利用計画図（案）等に関して質疑応答がなされた。
⑷「若葉台住宅管理組合協議会2017年度議案書」の骨格審議
－幹事より提案の「2017年度議案書」(5月度役員会用)に基づき説明－
①第3号議案・幹事及び監事選出の件（柿沼会長）
任期満了幹事5名の内、3名が再任、2名が退任、1名が新任。任期満了会計監査1名が退任、1名が監事として新任となる事、等について説明。
②第4号議案・協議会会則改定の件（柿沼会長）
本件は4月度役員会にて審議済み。
③第5号議案・2017年度活動計画（案）（柿沼会長）
活動計画案に沿って、順次説明。
管理運営委員会の取り組み⑵項「要介護者の状況を事前に把握して、緊急時にそれらの方々へ適切な対応を図るために・・」は、防災的な観点に絞って把握・対応すべきとの意見が出され、この部分は見直す事になった。
④第2号議案・決算報告、第6号議案・予算案（橋本会計）
5月31日付の予想決算数字であり、最終的なものと異なる可能性あり。また、備品リストのパソコン購入が 2014 年となっているが、2015 年が正しい旨、指摘あり。
以上の説明を受け、審議した結果、指摘事項について訂正する事を条件に、議案書は了承された。
⑸協議会関係諸機関の情報等
丸野課長より、①センター主催セミナーの件、②協議会委員会・駐車場問題研究会の委員名の届出、等について説明あり。

2017年6月

委員会報告

1. 施設委員会の報告

委員長　柳楽 勲

・今年も「100 年マンション憲章」に示された理念にそって、奇数月に5回開催し、委員会の活動計画に基づき課題に取組みました。

1）第 1 回　2016 年 7 月 15 日(金)　20 時～21 時 30 分

①委員は、15 名全員が新任で、専門委員としてまちづくりセンター藤井氏と、事務局として川口氏の構成とし、2016 年度の活動計画、(1)電力自由化の各住宅管理組合の状況と情報交換、(2)100 年マンションプロジョクトの成果、外壁のフッ素塗料について、(3)アルミサッシの更新について、(4)免震及び、制震工事の現場見学会、(5)大規模修繕工事の現場見学会、(6)その他、各委員の関心事、などの課題に取り組むことを確認した。

②電力自由化について

別紙により、新電力の電気料金等の比較説明が委員長よりあった。

・日本全体の年間電気売上高は約 8 兆円であり、東京電力の電気売上は約 2 兆 8000 億円と日本で一番多い。

・電力自由化で自前の発電所を持っているのは、東京ガスとJXエネルギーである。

・東京ガスに、ある住宅管理組合(約 500 戸)の 2015 年 1～12 月の電気料金の試算を依頼した結果、8.7% 45 万円の年間メリットがあることを報告した。

2）第 2 回　2016 年 9 月 16 日(金)　20 時～21 時 30 分

①100 年マンションプロジェクトによる大規模修繕工事（外壁塗装）について別紙資料に基づきセンター藤井委員よりWJPの検討結果が報告された。

・100 年マンションを目指す時に長命化するための改修工事の検討。

・工事の繰り返しに伴い増大する費用の削減。（4～5 回塗ったら下地をはがすため）

・外壁塗装について 3 回目の大規模修繕は弱溶剤系フッソ系塗料の採用を提案し、工事周期を 13 年としていたものを 18 年とすることが可能となり、長期的にみて費用を削減できる。

3）第 3 回　2016 年 11 月 12 日(土)　10 時～11 時 45 分　現場見学会

①　3-4 棟・3-5 棟・3-7 棟耐震工事について、別紙資料により神奈川県住宅供給公社の佐武主幹と松井主幹より耐震工事の概要について説明を受けた。

・3-7 棟しらかし集会所・自転車置場にて免震装置を見学し、主に免震構造について概要説明を受けた。

・免震構造 3-5・3-7 棟の場合は建物 3 階部の柱を切断し積層ゴムを設置。これが建物の揺れを軽減し各所にあるダンパーにて揺れによる建物上階位置の補正を行う。

・3-4 棟駐車場にて、制震構造についての概要説明を受けた。

制震構造 3-4 棟の場合は建物開放廊下面に筋交い状の摩擦ダンパーを設置。これが地震の力エネルギーを吸収する。

2017年6月

4)第 4 回　2017 年 1 月 14 日(土)　10 時～11 時 40 分　現場見学会
①マンションリニューアル提案書　アルミサッシ交換工事について
・別紙資料に基づき(株)LIXIL リニューアル織多氏より会社概要とアルミサッシ交換工事の概要について説明を受けた。
・サッシ改修には部品交換やガラス交換など、幾つか方法はあるが操作・美観・気密・断熱遮音・防犯性能を解決するには、窓枠のカバー工法がベストと思われる。
・LIXIL が提案するペアガラスで断熱・防露性能を高め、また在来サッシに比べ耐風圧性・気密性・水密性・遮音性も優れている。カバー工法で行えば 1 住戸当り調査 1 日施工 1 日の計 2 日で完了できる
経済産業省　資源エネルギー庁「既築住宅における高性能建材導入促進事業」の補助を受けると、概ね工事費の 20～25%が補助される。
②現場見学会　大規模修繕工事見学
・第 12 住宅管理組合 4-28 棟・29 棟(全 2 棟)の第二期大規模修繕工事について、センター佐武氏より概要説明を受けた。
・基本工事:外壁塗装・各所防水工事等、
・グレードアップ工事:①各棟エントランスの自動ドア改修工事　②28 棟階段室開口部サッシ取付工事、③各棟共用部の照明器具 LED 改修工事

5)2017 年 3 月 10 日(金)　20 時～21 時 30 分
①都市ガス自由化について
・別紙資料に基づき藤井専門委員より都市ガス自由化の概要説明があった。
平成 29 年 4 月より、家庭用都市ガス販売が自由化され、これまでの地域ごとの供給を見直し、一定条件下の新規事業者の参入を認めて自由選択が可能となった。
・若葉台エリア(東京圏)の参入表明は現在日本瓦斯株式会社(ニチガス)のみで、平成 29 年 7 月からは東京電力エナジーパートナーがサービス開始予定である。
・1 月末時点で新規参入業者は全国で 10 社ほどであり、ガスメンテ対応業者が少ないためと考えられ、東京電力とニチガスの両者は共同出資会社設立に向けて調整中と発表されている。

委員会報告

2. CATV等委員会の報告

CATV等委員会
委員長 鴻谷 豊

活動概要

本年度は昨年度に続き休会としましたが、専門委員等で構成する小委員会として活動し、小委員会の開催や業者をお呼びしての打合せを行いました。主な内容は、①各住戸の棟内テレビ放送用等の伝送路の改修に関する検討、②若葉台でのBS並びに110度CSでの4K・8K衛星放送の受信に関する検討、③その他としてNTT東日本からの光配線方式の紹介です。

上記①に関しては、昨年度のイッツコムからの説明に引き続き、NTT-ME、並びにエトリ電設から説明を受けました。これらは主として棟内伝送路を光ファイバーケーブルでの改修に関するもので、一部の改修費用の業者からの見積を含め、課題の整理を行いました。

上記②に関しては、2016年9月から2017年1月にかけて総務省に動きがあり、BS並びに110度CSでの4K・8K衛星放送に関して、申請放送事業者に実用放送の業務の認定がなされました（衛星並びにその電波の使用チェンネル等が決まりました）。また、イッツコムからは2016年12月に若葉台でのBS4K・8K衛星放送の受信に関して、案内がありました。但し、この案内は若葉台で実現が可能かは調査が必要であり、その結果も含めてイッツコムからの今後の提案を受けて対応を検討することになります。

上記③に関しては、NTT東日本から若葉台での棟内光配線方式への対応に関して紹介頂きました。

各小委員会等での主な内容

・6月４日（土）10時～11時40分：小委員会
　・今後の進め方に関して整理を行った。
・6月７日（火）10時～11時：NTT東日本との打ち合わせ
　・若葉台の棟内伝送路の改修に関して見積含め相談を行った。見積に関してはNTT東日本のサービスを受ける前提でないと見積を行うことができないとのことで、㈱NTT-MEを紹介頂いた。
・6月１７日（金）15時～16時30分：㈱NTT-MEとの打ち合わせ
　・NTT-ME社としての経験上、集合住宅での棟内伝送路光ファイバー化への改修に関して費用含めて概略をお聞きした。
・7月１１日（月）16時～17時：イッツコムとの打ち合わせ
　・若葉台の各棟内敷設されている同軸ケーブルの劣化測定に関して、2013年に行われた改修時の状況も含めて相談を行ったが、敷設されている環境に大きく左右される等の理由から、劣化測定は難しいとの結論となった。

2017年6月

・8月６日(土) 10時～12時：小委員会
・NTT東日本との打ち合わせ
・今後の通信・放送環境の変化(融合等)に関するNTTの方向性をお聞きしたが、聞くことは出来なかった。
・現在、若葉台で導入している棟内VDSL方式を棟内光配線方式に変更することの可能性をお聞きした。
・棟内伝送路の改修見積に関して
・現状同軸ケーブルの劣化測定、改修時期、費用見積等に関して議論した。
・9月３日(土) 10時～12時：小委員会
・伝送路の改修に関して、BS並びに110度CSでの4K・8K衛星放送への対応も考慮する必要があり、その詳細が分かっていない現時点では、改修方法含めて改修積立金の各住宅管理組合への提示は時期尚早と判断した。また、各住宅管理組合の考え方を考慮することが重要なため、明年度CATV等委員会を再開し対応を図ることとした。
・9月８日(木) 10時～11時：30分：エトリ電設との打ち合わせ
・棟内伝送路の改修に関して、イッツコム、NTT-ME以外にも聞く必要があると判断し、浜菅ネットからエトリ電設を紹介頂き、打ち合わせを持ち、情報収集を行った。また、例示的に棟内光ファイバー化への改修費用見積をお願いした。
・9月23日(金) 10時～11時：NTT東日本との打ち合わせ
・若葉台での棟内光配線方式への対応に関してお聞きした。
・12月８日(木) 17時30分～19時：イッツコムとの打ち合わせ
・イッツコムが11月16日付けで報道発表した「サービスエリア全域FTTH(光ファイバー)化を決定　次世代サービス提供に向けたネットワークインフラの構築について」に関して、現時点で確定している内容、特に若葉台への対応についてイッツコムから説明を頂いた。
・1月20日(金) 20時～22時：住宅管理組合協議会での説明会
・小委員会で検討してきた内容等を含め、現状の説明会を開催した。

2017年6月

委員会報告

3. 管理運営委員会の報告

管理運営委員会
委員長 福田　正勝

活動概要

本年度は、委員会を5回（7/21、9/15、11/17、1/19、3/16）開催し、下記、2項目を諮問事項として取り組みました。「マンション標準管理規約」改正に伴う若葉台としての指針作成に関しましては、協議会役員会（平成29年4月開催）に答申・指針を成果として提出いたしました。

（1）「マンション標準管理規約」改正に伴う若葉台としての指針作りを行う。

（2）管理組合役員のなり手不足および高齢者対策

活動内容

第1回　2016年7月21日　PM20：00～

・昨年度の活動実績報告をした。

・今年度の取り組みについて説明をした。

マンション標準管理規約（団地型）改正版を基本として、若葉台としての指針を作成する。

主な項目：暴力団排除規定、災害等の場合の管理組合の意思決定、緊急時の理事等の立ち入り、民泊等の「標準管理規約」改正を中心に取り組むこととした。

第2回　2016年9月15日　PM20：00～

・下記5項目の条項を検討の結果、修正案を策定した。

①専有部分等の修繕等

②暴力団の排除規定

③緊急時等の場合の管理組合の意思決定

④緊急時の理事等の立入

⑤民泊の禁止

・現状規約等の提供を受け参考資料として内容検討した。

専有部分等の修繕等：100年マンションプロジェクト・設備小委員会作成の規約

暴力団等の排除規定：「第7住宅管理組合」「くぬぎ管理組合」

第3回　2016年11月17日　PM20：00～

標準管理規約改正の条項を基本とし指針の作成方法とする了承を得る。

・下記5項目を追加、指針作成の資料にもとづきプロジェクターにて説明及び内容を確認した。

⑥外部専門家の活用

2017年6月

⑦コミュニティー条項等の整理
⑧理事会の代理出席
⑨管理費等の滞納に関する措置
⑩マンションの管理状況などの情報開示

第4回　2017年1月19日　20:00～

指針（案）全12項目の条項をプロジェクターで内容説明、検討、確認した。
結果、若葉台としての指針（案）と答申を第5回管理運営委員会で検討、承認を得ることとした。

・第3回で提供を受けた資料の下記2項目を指針に取入れることとした。
専有部分等の修繕等：設備小委員会作成の規約
暴力団等の排除規定：「第7住宅管理組合」

第5回　2017年3月16日　20:00～

標準管理規約改正を検討の結果、答申及び成果品として「若葉台住宅管理組合の標準的な管理規約改正への指針」の承認を得た。
4月7日開催の役員会に提出することを委員会として承認。

2017年6月

委員会報告

4. 長命化・再生委員会の報告

長命化・再生委員会
委員長　畠山　正

本年度の活動としては、2016年度の議案書に記載された項目のうち、次の項目について重点的に協議・検討を行ないました。

1　緑のまち横浜若葉台「100年マンション憲章」の勉強会の実施
2　「100年マンションプロジェクト」の改修技術WG、設備小委員会の報告について、長命化・再生委員会として理解を深めるべく、勉強会を実施
3　第 9 回若葉台住民シンポジウム（2017 年秋開催予定）のテーマについて
4　その他
　外断熱工法の比較、省エネ関連設備の情報収集・周知・検討

委員会の開催日程としては、7月から3月までの奇数月の第2木曜日としました。

【 委員会活動 】

第1回　7月14日（木）
1　2015年度活動報告及び2016年度活動計画
2　緑のまち横浜若葉台「100年マンション憲章」の解説
3　100年マンションプロジェクト・改修技術WGの「改修周期18年を目指した大規模修繕工事の仕様案」の概要
4　省エネ関連設備の情報収集・検討

第2回　9月8日（木）
1　「100 年マンションプロジェクト」の改修技術WG、設備小委員会の報告について、長命化・再生委員会として理解を深めるべく勉強会を実施。まちづくりセンター松原氏より説明をいただく。
　・大規模修繕工事に関する検討作業を3カ年行った。
　・外壁塗装の周期延長の改修技術検討
　・大規模修繕工事を延長することによる課題
2　省エネ関連設備の情報収集・検討

第3回　11月10日（木）
1　第 9 回若葉台シンポジウム（2017年秋開催予定）のテーマについて
　・協議会が主催者で興味を持てるテーマを選定する。
　・長命化・再生委員会がシンポジウム実行委員会の中心となる。
2　省エネ関連設備の情報収集・検討

2017年6月

第4回　1月14日(木)

1　第９回若葉台シンポジウム(2017年秋開催予定)のテーマについて

・委員会で協議

・協議会幹事会にて立案、役員会にて決定することとした。

2　省エネ関連設備の情報収集・検討

第5回　3月9日(木)

1　省エネ関連の情報収集・周知・検討

・外断熱工法・ペアガラス、LED照明

・次年度のテーマなど、各委員との意見交換

2017年6月

第2号議案

２０１６年度　決算報告

自　平成２８年６月　１日
至　平成２９年５月３１日

（単位：円）

	予　算	実績		2015年実績
1 収入の部				
前年度繰越金	286,632	286,632		261,425
管理組合年会費	432,800	432,800		432,800
（管理組合基本額　：　15組合×@15,000）				
（戸当り分担金　　：　5,195戸×@40）				
雑収入（会合費残金、利息）	15,000	22,115		11,755
合　計	734,432	741,547	①	705,980
2 支出の部				
事務費	10,000	0		10,591
備品費	40,000	0		0
通信費	10,000	14,340		8,750
会議費	90,000	76,481		77,752
研修・広報費	40,000	0		47,475
調査・研究費	10,000	0		0
浜管ネット年会費	125,000	125,000		125,000
協賛金	60,000	70,000	※1	60,000
渉外・交通費	65,000	64,500		79,780
慶弔金	10,000	0		10,000
予備費	20,000	0		0
合　計	480,000	350,321	②	419,348
収・支差（繰越金残高）①－②	254,432	391,226		286,632

繰越金明細

横浜銀行口座残高	205,126
スルガ銀行口座残高	151,503
現　金	34,597
仮払金	0
合　計	391,226

※1　協賛金明細

1. VOSC協賛金	30,000
2. NPO法人 若葉台	10,000
3. 社会福祉協議会	30,000
合　計	70,000

3 備品リスト

（1）パソコン　　１式
- 本体・外付けハードディスク　　２０１５年３月購入
- ウィルス対策ソフト（３ヶ年版）　　２０１５年７月購入

上記の通り相違ないことを認めます。

2017年5月21日

会計監査　井坂 登　井坂

2017年6月

第3号議案

若葉台住宅管理組合協議会会則改定の件

（会則10条及び第12条による。4月度役員会にて事前審議済）

協議会会則の改定案については、4月度役員会にて事前審議済のため、審議結果としての改定案全体は、付属資料に付けさせて頂きました。ここでは、その概要を理解して頂くために、会則第7章付則の該当部分のみを記すものとします。

第 27 条 この会則は、2017年6月4日より施行する。

※第2条（目的）の「問題」を「課題」に訂正。「維持」を追記。

※第9条（機関）の構成者に「監事」を追記。2項で役員会議長について新たに規定。4項の「専門委員」を「委員」に訂正。

※第10条（議決事項）に年間活動報告を追記。

※第11条（開催）に3項として「幹事会」について新たに規定。第11条の2として議事録等について新たに規定。

※第4章のタイトル「幹事及び会計監査」を「幹事及び監事」に訂正。

※第16条のタイトル（会計監査）を（監事）に名称変更。第3項にて監事の業務範囲を拡げる方向で新たに規定。

※第16条の名称変更（会計監査→監事）に併せ、関連部分（第10条、第16条、第17条）についても訂正。

※第19条（事務局）の（財）若葉台管理センターを一般財団法人若葉台まちづくりセンターに訂正。

※第20条（種類）について、(2)施設委員会を施設等委員会に名称変更し、(4)長命化・再生委員会を削除。

※第24条（会費）の文面を一部訂正。

2017年6月

第4号議案

2017年度幹事及び監事選出の件

（会則第4章〔幹事及び監事〕による。5月度役員会の承認対象）

＜ 幹 事 ＞(任期2年)

副 会 長(再)　　加藤　壽六（第7住宅管理組合）

幹　　事(再)　　福田　正勝（若葉台くぬぎ）

幹　　事(再)　　畠山　　正（第11住宅管理組合）

会　　計(新)　　蜂須賀益美（第12住宅管理組合）

＜監事＞(任期2年)

監　　事(新)　　金子　三昭（第一住宅管理組合）

なお、下記幹事2名は任期中です。

＜ 幹 事 ＞(残任期1年)

会　　長(再)　柿沼　鉄雄（第6住宅管理組合）

事務局長(再)　鴻谷　豊（第5住宅管理組合）

＜ 顧 問 ＞

顧　　問(再)山本　育三（第3住宅管理組合）

2017年6月

第5号議案

2017年度活動計画（案）

1989年6月に若葉台住宅管理組合協議会（以下、協議会という）が発足して以来、本年6月で満28年が経過します。協議会では、15の全管理組合理事長で構成する役員会を毎月定期的に開催し、共通する問題について協議するとともに、常設の委員会・小委員会や臨時の委員会などで検討を進め一定の結論を「答申」や「具申」、「指針」、「提言」（以下、答申等）という形で役員会に提起してきました。

昨年度も、4つの委員会・小委員会が活発に活動し、答申等を頂きました。ここに専門委員並びに構成管理組合より選出された委員の方々のご協力に感謝申し上げます。

若葉台の開発、入居が始まってから38年が経ち、協議会レベルでの取り組みと構成各管理組合との協働がより重要になっていることは、改めて言うまでもありません。

本年度もこのような状況を踏まえつつ、「マンションの長命化と再生」を共通の視点として、ハード面だけではなく付随するソフト面も含めて諸課題を解決していくため、以下の計画に沿って本年度の活動を進め、「100年マンション憲章」で掲げる理念の実現を目指して行くものとします。

1．若葉台内住民組織等との協働について

「100年マンション憲章」の3項には「住・緑環境」を守るために、「積極的かつ広域的に協調」して行くことを謳っており、本年度も引き続き、この線に沿って、若葉台内住民組織等との協働を図って行くものとします。特に、下記3点については、中心メンバーの一員として積極的に関与して行くものとします。

（1）若葉台未来づくり協議会

県住宅供給公社、若葉台まちづくりセンター主催の会議で、若葉台内の主要な住民組織代表が参加しており、中心街の活性化を始めとする若葉台の活性化がメインテーマとなっている。

昨年度には、次項、横浜若葉台マスタープラン策定委員会のまちづくり構想（マスタープラン）に歩調を合わせるような形で、横浜市の「大規模団地再生モデル構築事業」が動き出し、4つの大規模団地（若葉台はこの中の一つ）を抱える旭区において先行着手し、その検討結果を団地再生のモデルとして全市的に展開して行く事になった。

（2）横浜若葉台マスタープラン策定委員会

都市計画決定から40年余り経過している中、若葉台が抱える諸問題への対応として、団地関係者が協働して将来を見据えたまちづくり構想（マスタープラン）を策定し、持続性のある団地の実現を目指している（横浜市並びに旭区もオブザーバー参加）。

2017年6月

策定委員会そのものは、本年2月をもって終了したが、今後は、マスタープランに沿って、取り組みを実践し進捗を管理していくマネージメント機能が必要になってきており、協議会としても、このマネージメント機能に積極的に協力して行く。

(3)若葉台福祉のまちづくり検討会議

同検討会議は、NPO法人若葉台が事業のとりまとめ役となり、地域の医療関係者、介護支援・生活支援事業者等を中心に、協働事業として検討を進めてきた「若葉台24時間見守り事業」の推進母体です。

本件の核となる「若葉台地域交流拠点ひまわり」は、昨年3月に開所の運びとなったが、協議会としては、今後とも、推進団体の一つとして、真に住民にとって信頼され役立つ事業となるよう、かつ、行政からの助成を受ける事で事業としても成り立つよう、運営面でも協力して行く。

2. 100年マンションプロジェクト(WJP)について

本プロジェクトは、昨年4月の「WJP事業報告会」を以って一旦収束する運びとなったが、引き続きフォローアップが必要な課題も残っているため、協議会幹事並びに若葉台まちづくりセンターの限られたメンバーで対応して行く。

また、本プロジェクトの成果に関連し、昨年度、外部管理組合組織や一部メディアから問い合わせ・取材等がありました。協議会としては、この様な動きには、本年度も引き続き真摯に対応して行くものとします。

3. 共通イベントの計画について

(1)理事研修会について(8月上旬)

毎年、各管理組合では理事のほぼ半数が改選されるため、新しく理事に選出された方々を主たる対象に理事研修会を開催します。

本年度は、「大規模修繕工事の周期延長について」、「中央監視施設の見学」、「設備配管等の改修工事について」をテーマとすることを予定しています。

(2)第9回若葉台住民シンポジウムについて(11月中旬)

本シンポジウムは、管理組合理事だけではなく、一般組合員も興味・関心が持てるテーマを選定し、構成管理組合の協力のもと、実行委員会を組織し、隔年で開催しており、本年度は開催年にあたります。

本年度は、大規模地震への懸念が高まっている中、「管理組合或いは個人宅としての防災対策・地震対策、火災保険・地震保険、大震災時のまちづくりセンター・防災センターは？」等をキーワードにシンポジウムの開催を予定しています。

2017年6月

(3) 第13回住宅管理に関する定期懇談会について(12月上旬)

「若葉台の住宅管理に関する諸課題についての意見交換と認識の共有」を目的として、例年通り、県住宅供給公社並びに若葉台まちづくりセンターを交えた懇談会を開催します。

4. 施設等委員会の取り組み

本年度は、「長命化・再生委員会」と「施設委員会」を統合し、両方のテーマを扱う事になりました。両委員会の前年度の活動結果を踏まえ、以下の4点を主要課題として活動します。

(1)アルミサッシの更新時期と交換方法について、既に採用された管理組合の実施例を紹介し、関連情報を共有する。

(2)耐震工事の現場見学会

3丁目賃貸住宅で施工された耐震工事の見学会を実施する。

(3)修繕工事の現場見学会

本年度計画されている管理組合の大規模修繕工事の現場見学会を実施する。

(4)エアコン増設に伴う外壁穿孔問題について、各管理組合の実態を調査し、若葉台としての指針作成を目指す。

(5)その他

・各委員の関心事である提案と意見の検討

・第9回若葉台住民シンポジウムへの協力

5. CATV等委員会の取り組み

本年度は、以下の項目に関して協議会役員会よりの諮問事項として検討を進めて行きます。

(1) 若葉台各棟内テレビ放送再送信用等の伝送路の推奨改修方法・改修時期に関して検討を行い、指針を作成する。

・現在敷設されている同軸ケーブルの改修に関して、将来を見据えて、また、若葉台の住宅の資産価値の視点並びに各住宅管理組合の考え方を考慮する中、指針の作成を行う。

・テレビ放送の再送信のみならず通信環境の整備の面も検討対象とする。

(2) 若葉台でのBS並びに110度CSでの4K・8K衛星放送の受信等に関して将来を見据えて検討を行い、指針を作成する。

・イッツコムによる棟内伝送路の調査への対応を行い、その結果、並びに、今後のイッツコムからの提案をもとに検討を行い、指針の作成に繋げる。

(3) その他、検討が必要になった事項が発生した場合、その事項に関して検討する。

＊尚、各事項は2017年度で完成しない可能性があるため、2017年度末では中間報告になる可能性があります。

2017年6月

6. 管理運営委員会の取り組み

本委員会は、マンション管理において発生する管理運営に関する様々な問題について調査・検討を行うものとし、本年度は、下記項目を役員会の諮問事項として取り組むものとします。

(1)「個人情報保護法の改正と管理組合としての対応」

平成17年に制定された個人情報の保護に関する法律(以下、「個人情報保護法」)が大きく改正され、平成29年5月30日に施行されます(個人情報保護委員会)。

従って、個人情報保護法の改正に伴い、管理組合が早期に対応しなければならない事項について検討する。

(2)緊急時(大地震・火災・事故・事件等)に、高齢者、乳幼児等への適切な対応を図るために、管理組合として、プライバシーを侵害しない範囲で「個人情報」を取得する方策、また、それらを管理する仕組み等の構築等について検討する。

7. NPO 横浜マンション管理組合ネットワークへの協力

「NPO法人横浜マンション管理組合ネットワーク」(略称「浜管ネット」)(1996年6月創立、1999年10月 NPO法人化)には、多くの正会員・賛助会員が加入し、活発に事業活動が行われています。

同ネットには、創立当初より団体正会員(協議会組織)として参画しており、当協議会からは、現在、加藤副会長が同ネットの会長の任にあります。

今後とも同ネット事業の企画・展開に積極的に協力して行くものとします。

8. 広報活動について

協議会より構成管理組合向けの広報としては、旧来、各委員会や関連会議等の報告および各管理組合の広報誌を役員会時に配付し管理組合間の情報交換を行ってきました。2014年度からは、役員会用Webを立ち上げ、役員会時の配付資料等の一部のアップを実施しています。併せて、協議会幹事と各管理組合理事長間の電子メールによる情報連絡網を整備し、防犯情報等の速報に役立てています。

更に、本年度中には、旧来の協議会ホームページ(2011年度まで情報が掲載されているが、手を加えられない状況にある)を廃止し、新たな協議会のホームページを立ち上げる事を計画しています(但し、ホームページに掲載する情報の範囲等については、これから検討する)。また、2015年度からは連合自治会の広報誌「みんなの若葉台」の2面に管理組合枠を確保できることになり、各管理組合にも持ち回りで記事の提供等をお願いしているところです。

2017年6月

9. 若葉台管理ガイドブックの改訂について

「知っておきたいマンションライフ～若葉台管理ガイドブック～2010年改訂版」については、2014年4月に施設篇の一部改訂版を発行しましたが、2019年6月には、協議会設立30周年の節目を迎える事になりますので、記念事業の一環として、改訂版の発行を目指して検討開始するものとします。

10. 協議会としての共用パソコンについて

本件、一昨年3月に、共用のパソコン並びに外付けポータブルハードディスクを購入、その後ウイルス対策ソフトも購入し、役員会資料等の管理に役立てています。

尚、設置場所、運用要領等に関しては、検討が進んでいないため、本年度に再度持ち越すことになります。

以上の計画の推進に当たっては、協議会会則に制定の100年マンション憲章（前文）、目的（第2条）および性格（第3条）を踏まえ、構成管理組合の自主性、独立性を尊重しながら、実施して行きます。

2017年6月

第6号議案

２０１７年度予算（案）

自　平成２９年６月　１日
至　平成３０年５月３１日

（単位：円）

	１７年度予算	
1 収入の部		
前年度繰越金	391,226	
管理組合年会費	432,800	
（管理組合基本額　：　15x@15,000）		
（戸当り分担金　　：　5,195x@40）		
雑収入	15,000	会合費残金、利息
合計	839,026 ①	
2 支出の部		
事務費	40,000	事務用品・インク代
備品費	40,000	スチィール書棚
通信費	10,000	
会議費	90,000	各委員会、幹事会
研修・広報費	40,000	研修会・広報関係費
調査・研究費	10,000	
浜管ネット年会費	125,000	
協賛金	70,000	VOSC・社協・NPO若葉台　※1
渉外･交通費	65,000	
慶弔金	10,000	
予備費	20,000	
合計	520,000 ②	
3 収支差		
①－②	319,026	次年度への繰越金

① 各管理組合構成住戸数（積算基礎数）

第一住宅管理組合	662	第８住宅管理組合	474
(法)東マンション	642	第９住宅管理組合	38
第３住宅管理組合	44	第10住宅管理組合	260
(法)若葉台くぬぎ	883	第11住宅管理組合	199
第５住宅管理組合	816	第12住宅管理組合	199
第６住宅管理組合	39	第13住宅管理組合	106
第７住宅管理組合	420	第14住宅管理組合	107
		第15住宅管理組合	306
		総計	5,195

※1
VOSC：若葉台スポーツ文化クラブ
社協：若葉台地区社会福祉協議会
NPO若葉台：認定NPO法人若葉台

2017年6月